

【中・高等学校教育実習入門】

1. ねらい

- ・授業を受ける「生徒」の立場から授業をつくる「教師」の立場へ、視点の転換を図る。
- ・教師の視点から、授業を観察する方法とその意味・意義を説明できる。

2. スケジュール：水1コマ・L109

日程	講義のテーマ，学習課題
事前指導	第5講 5月21日 授業を観察する視点と方法（1） 日本史「石山合戦」を事例にして ・授業の観察には，どのような視点の立て方＝顕微鏡 or 望遠鏡があるか？ ・どのような視点で見ると，社会科授業の「仕込み」がみえてくるか？ ・そもそも，なぜ授業を観察するのか？
	第6講 5月28日 授業を観察する視点と方法（2） 現代社会「国際協力と日本の役割」を事例にして ・教科書は，地理・歴史・社会をどのように描いているか？ ・教師は，地理・歴史・社会をどのように再構成して教えているか？ ・なぜ両者は，必ずしも一致しないのか？
	第7講 6月4日 授業を観察する視点と方法（3） 地理「オーストラリア」を事例にして ・なぜ研究授業では，「学習指導案」が用意され，配布されるのか？ ・どのように授業を観察すればいいのか？－メモの取り方－ ・どのように協議会で発言すればいいのか？－批評の仕方－
授業観察	第8/9講 6月18日 授業観察の実際（1） 朝6時20分集合，遅刻厳禁，バス代金・印鑑・クリップボードの持参
	第10/11講 6月25日 授業観察の実際（2） 朝6時20分集合，遅刻厳禁，上履き・バス代金・印鑑・ボードの持参
事後指導	第12講 7月2日 授業観察で学んだこと（1） 「附属中・高等学校」の実践を事例にして ・どのような授業が行われていたか？ ・自分たちが中高で受けた授業と比較して，似ていた点/違った点とは？ ・教師はどのような工夫をしていたか？なぜそんな工夫をしていたのか？
	第13講 7月9日 授業観察で学んだこと（2） 「附属三原中学校」の実践を事例にして ・教科指導を通じて，どのような子どもを育てようとしていたか？ ・そのねらいを達成するため，教師はどんな手立てを講じていたか？ ・本授業の「魅力」「不思議」とは？社会科の「使命」って何だろう？

※1 各教科の代表者。7月16日の講義で「教育実習入門で学んだこと」(6分)を発表。

※2 7月14日(金)17:00までに，各教科の発表資料(A4用紙1枚，最大でも2枚)を「学生支援室教育実習担当」者に提出。代表者の氏名を明記すること。

3. 情報提供など

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/~kusahara/kusalab/index.html>「草原研究室 社会科」で検索
 教師になるとは，社会科とは，社会科を研究するとは...について関心をもって欲しい。